

50 アオシギ

(チドリ目)

Gallinago solitaria

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

アルタイ山脈、テンシャン山脈、中国北東部からカムチャツカなどで繁殖し、繁殖後も多くは繁殖地周辺の暖かい地域で越冬するが、一部はアジアの温帯から熱帯、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。山地の溪流沿いや水田、山間部の湿地などに単独で生息する。昆虫類やミミズ類、陸生貝類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★洲本市、★宝塚市、川西市、三田市、丹波篠山市、丹波市、宍粟市、佐用町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争圧	特殊 捕食圧	特殊 繁殖環境	特殊 採餌環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。県南部の河川の上流部では毎年記録されているが、生息する環境も限られている。個体数は極めて少ないと考えられる。

保護上の留意点

主な生息地となっている山間部の湿地で乾燥化が進んでいるところがあり、本種の減少要因ともなっているため、山間の湿田などで、本種の採食地となる環境を保全していくことが必要。